

## ▼セファランチン錠 [内] ・▼注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 タマサキツヅラフジ抽出アルカロイド 【分類】 脱毛・白血球減少抑制剤

【単位】 ▼1mg/錠, ▼10mg/A (2mL)

【常用量】 ■内服：白血球減少症 3～6mg/日, 脱毛症 1.5～2mg/日 ■注射：1回1～10mg

【用法】 ■内服：分2～3食後 ■注射：1日1回静注, 皮下注

【透析患者への投与方法】 常用量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (5)

【特徴】 生体膜安定化作用, 免疫産生能増強作用, 細網内皮系機能促進作用, 抗アレルギー作用, 骨髓血液幹細胞増加作用, 脂質過酸化反応抑制作用, 毒素抑制作用, 血小板凝集能抑制作用, 末梢血管拡張作用, 副交感神経緊張寛解作用などが知られているが, その作用機序は未知.

【主な副作用・毒性】 頭痛, 悪心, 食欲不振, 胃部不快感, 下痢

【F】 6～9% (1)

【tmax】 1.1～2.5hr (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 2.5% (1) 主に糞中に排泄 (1)

【CL】 100～160L/hr (1)

【t1/2】 35hr (1) 経口では4～17hr (1)

【透析性】 不明 (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない

【更新日】 20151125

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。